



お座小生今回は必す報新中子一先新を待ち程

の通後せんといふは打撃後毎の随分書きたる様りも

殊に海戦上関しは山本伊集院等が詳細に語り及んたる

十分細かき書き分けを送せしが何れも小生の腕力不足が上

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九

は掲載せしむる所ありしもの如く小生の通後八十の九



と云ひ居るは是下中山部と勸告せすやと
云ひ居るは是下中山部と勸告せすやと
云ひ居るは是下中山部と勸告せすやと

少部伯は素外仕使るは徒前より也
肥へ居る様は見え受けぬも貴陸氣力
は欲する衰へ居るより如く十四五方石
力對陸其は其氣力の衰へ居る如目は
見ゆる様と云ふ島子秘め而居しれ
る人は皆不斯く申上

伊差信已取来し事よけて下別子
内情も方々す差又ち事は行す通
信の書き置き此身之より此見以て
伊差伯が海運津戸の松方伯を預
けは或は松方伯を又も引入るの内
心と云ふと申せども確かならず候し
居るはしく了るに居る財政が
歸らぬの色あり原因は後述の如し
ては述も島子様はあらず島子日下
伊差伯の如物すは居るしくは

榊山子秘め命ふ人毎に閣下の以時を
申上居るは島子が居る河島野
二三現女は打明けたるが根元と云ふ
しは閣下の雪隠行きのは若し其の事
を以て誤り申上居るは山本權兵衛
あはれはまを閣下は衰弱の様はすき
候すは座中よりありて二三人の女
子も居るお世流せぬはあらず由は
申上居るは島子の辯じ置き申上
居るは南に閣下加へるの如くは強壯
に入上せしむるをすきて候はざる
人あはれは次命は北堂五十五し
は其曲はもて候は陽壽し時候
とあらずは天機伺ひ候は

伊差伯が海運津戸の松方伯を預
けは或は松方伯を又も引入るの内
心と云ふと申せども確かならず候し
居るはしく了るに居る財政が
歸らぬの色あり原因は後述の如し
ては述も島子様はあらず島子日下
伊差伯の如物すは居るしくは

榊山子秘め命ふ人毎に閣下の以時を
申上居るは島子が居る河島野
二三現女は打明けたるが根元と云ふ
しは閣下の雪隠行きのは若し其の事
を以て誤り申上居るは山本權兵衛
あはれはまを閣下は衰弱の様はすき
候すは座中よりありて二三人の女
子も居るお世流せぬはあらず由は
申上居るは島子の辯じ置き申上
居るは南に閣下加へるの如くは強壯
に入上せしむるをすきて候はざる
人あはれは次命は北堂五十五し
は其曲はもて候は陽壽し時候
とあらずは天機伺ひ候は

伊差伯が海運津戸の松方伯を預
けは或は松方伯を又も引入るの内
心と云ふと申せども確かならず候し
居るはしく了るに居る財政が
歸らぬの色あり原因は後述の如し
ては述も島子様はあらず島子日下
伊差伯の如物すは居るしくは

榊山子秘め命ふ人毎に閣下の以時を
申上居るは島子が居る河島野
二三現女は打明けたるが根元と云ふ
しは閣下の雪隠行きのは若し其の事
を以て誤り申上居るは山本權兵衛
あはれはまを閣下は衰弱の様はすき
候すは座中よりありて二三人の女
子も居るお世流せぬはあらず由は
申上居るは島子の辯じ置き申上
居るは南に閣下加へるの如くは強壯
に入上せしむるをすきて候はざる
人あはれは次命は北堂五十五し
は其曲はもて候は陽壽し時候
とあらずは天機伺ひ候は

伊差伯が海運津戸の松方伯を預
けは或は松方伯を又も引入るの内
心と云ふと申せども確かならず候し
居るはしく了るに居る財政が
歸らぬの色あり原因は後述の如し
ては述も島子様はあらず島子日下
伊差伯の如物すは居るしくは

榊山子秘め命ふ人毎に閣下の以時を
申上居るは島子が居る河島野
二三現女は打明けたるが根元と云ふ
しは閣下の雪隠行きのは若し其の事
を以て誤り申上居るは山本權兵衛
あはれはまを閣下は衰弱の様はすき
候すは座中よりありて二三人の女
子も居るお世流せぬはあらず由は
申上居るは島子の辯じ置き申上
居るは南に閣下加へるの如くは強壯
に入上せしむるをすきて候はざる
人あはれは次命は北堂五十五し
は其曲はもて候は陽壽し時候
とあらずは天機伺ひ候は

伊差伯が海運津戸の松方伯を預
けは或は松方伯を又も引入るの内
心と云ふと申せども確かならず候し
居るはしく了るに居る財政が
歸らぬの色あり原因は後述の如し
ては述も島子様はあらず島子日下
伊差伯の如物すは居るしくは

榊山子秘め命ふ人毎に閣下の以時を
申上居るは島子が居る河島野
二三現女は打明けたるが根元と云ふ
しは閣下の雪隠行きのは若し其の事
を以て誤り申上居るは山本權兵衛
あはれはまを閣下は衰弱の様はすき
候すは座中よりありて二三人の女
子も居るお世流せぬはあらず由は
申上居るは島子の辯じ置き申上
居るは南に閣下加へるの如くは強壯
に入上せしむるをすきて候はざる
人あはれは次命は北堂五十五し
は其曲はもて候は陽壽し時候
とあらずは天機伺ひ候は

伊差伯が海運津戸の松方伯を預
けは或は松方伯を又も引入るの内
心と云ふと申せども確かならず候し
居るはしく了るに居る財政が
歸らぬの色あり原因は後述の如し
ては述も島子様はあらず島子日下
伊差伯の如物すは居るしくは

人あつたに次舟より北堂五十里し
は系曲ひまて七條が陽壽し時候
とあつた一たふ天橋河の如何に
とあつた徳富ちと七毎及流るる上
書一は此也

大か首を旅順又進め陸下視わす
修ませ五ふよの事力希は徳富か
熱い水の中をどして流すのみであ
す而く是時こそ為る者もを流き出
又時接早しよ源流を吐く者も
あつたよ全くの互對流一人七死し
或は了りし者様あつた大毒物を
進め五ふ事力あつたよかと思が
られり也

第一軍方面の敵は九萬餘と考
不口大軍として成り進しを行はんと
すもこの如く依て金州ある山地
の東部系師團は全部此方面に
進後二向の事は大か首に
測合せしよの事は此也

二月十四日

杜え始す

大隈伯閣下
伏見